

# 第26回函館港イルミネーション映画祭 『自宅警備員のフェアリーテイル』に 遺愛学院のホワイトハウスが出演.

第26回函館港イルミネーション映画祭が12月5～6日まで函館市公民館で行われました。今までは、函館で映画祭が12月に開かれていたのは知っていましたが、何となく遠い存在でした。しかし今回、遺愛学院の国の重要文化財である『ホワイトハウス』（旧宣教師館）で撮影が行われたので、とても興味深く見守っていました。作品名は『自宅警備員のフェアリーテイル』（90分）で、今年のシナリオ大賞で審査員特別賞を受賞しました。監督は藤本匡さん、脚本が受賞者の潮喜久和さん、主演が大沢真一郎さんと木滝麻生さんでした。



内容は、函館の洋館（ホワイトハウス）に住む無職の独身男性45歳の自称「自宅警備員（ひきこもり）」が、洋館の持ち主である伯父から立ち退きを通告されうろたえます。伯父は洋館を取り壊し、土地を売ろうと考えていたようでした。そこに現れたのが、洋館に古くから住み着く家事妖精のシルキー。シルキーは自宅警備員の古川稔に洋館を守れと命じます。稔は無理だろうなど思いつつも自分の居場所の洋館を取り壊しの危機から守るために立ち上がるというお話だそうです。（パンフレットによると…）



映画は5日(土) 19:00からの上映でしたので、妻と18:35頃に函館市公民館に着いたのですが、公民館は超満員で会場に入れず、外で待つことに。立ち見なら可能と言われたのですが、三密に貢献しないように、泣く泣く家に戻りました。ちょっぴり残念な思いはありましたが、遺愛学院のホワイトハウスが出演している映画に、たくさんの方々が来て下さったことなので、とても良かったです。

2020年12月7日(月)